

たま ご や ふうけい  
玉ネギ小屋の風景

所在地：南あわじ市 山添



「田園の朝」南あわじ市 井上淳一氏撮影

(第1回淡路島景観フォトコンテスト 審査員特別賞受賞作品)



玉ネギ小屋



三原平野に点在する玉ネギ小屋



三原平野に点在する玉ネギ小屋

瀬戸内海の温暖な気候と肥沃な土壤に恵まれた三原平野では、水稻と路地野菜の三毛作や、果樹・花卉などの栽培が盛んです。

そのなかでも、玉ネギは、淡路島を代表する農産物です。玉ネギの栽培は、明治21年(1888)に始まり、現在は約2,200haを生産する全国有数の産地となっています。

淡路島では、収穫した玉ネギを乾燥・熟成させるための玉ネギ小屋が島内各地に点在しています。特に、初夏から盛夏にかけて、三原平野では、収穫した玉ネギをいっぱいにつるした玉ネギ小屋が建ち並ぶ特徴的な景観を、玉ネギの香りと一緒に望むことができます。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

玉ネギ小屋の景観を望める南あわじ市山添へは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから国道28号を南へ。車で約10分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図